

令和3年度定期作況報告

6月20日現在
道総研酪農試験場

I. 気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬：最高気温が14.6°Cと極めて低かったため、平均気温は10.0°Cで平年よりやや低かった。降水量は85.0mmで平年より63.5mm多かった。日照時間は30.6時間で平年より37.4時間少なかった。

6月上旬：最低気温は6.5°Cで平年よりやや低かったが、最高気温が21.1°Cで平年より2.4°C高かったため、平均気温は13.9°Cで平年より1.3°C高かった。降水量は44.0mmで平年より11.6mm多かった。日照時間は92.0時間で平年より33.8時間多かった。

6月中旬：最低気温が9.4°Cで平年並であったが、最高気温が18.7°Cと平年より2.1°C高かったため、平均気温は13.2°Cで平年より1.0°C高かった。降水量は13.0mmで平年より41.6mm少なかった。日照時間は36.8時間で平年より13.4時間多かった。

この1ヶ月間は5月下旬の降水量が極めて多く、6月上旬の日照時間が極めて多く、6月中旬の降水量が極めて少なかったことが特徴的で、総じると、気温は平年並みで、降水量は極めて多く、日照時間はやや多かった。

気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平均気温	(°C)	10.0	11.6	△ 1.6	13.9	12.6	1.3	13.2	12.2	1.0	12.4	12.1	0.3
最高気温	(°C)	14.6	18.4	△ 3.8	21.1	18.7	2.4	18.7	16.6	2.1	18.1	17.9	0.2
最低気温	(°C)	6.3	6.0	0.3	6.5	7.6	△ 1.1	9.4	8.6	0.8	7.4	7.4	0.0
降水量	(mm)	85.0	21.5	63.5	44.0	32.4	11.6	13.0	54.6	△ 41.6	142.0	108.5	33.5
降水日数	(日)	9.0	3.1	5.9	2.0	3.6	△ 1.6	3.0	4.5	△ 1.5	14.0	11.0	3.0
日照時間	(時間)	30.6	68.0	△ 37.4	92.0	58.2	33.8	36.8	23.4	13.4	159.4	149.6	9.8

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) △は負の値を示す

II. 当場作況

1. とうもろこし

作況: 良

事由

播種日が平年より 8 日早く、平年よりも播種後から出芽までの積算温度は緩やかに上升したことから、出芽期は平年より 6 日早かった。出芽後は、5 月下旬は低温寡照傾向で生育がやや停滞したが、その後の気象は高温傾向で推移したため生育が進んだ。6 月上旬に降霜があり、葉の一部が変色する被害が発生したが、その程度は軽微であった。6 月 20 日現在の草丈は平年よりも 4cm 高く、出葉数は平年よりも 1.2 枚多かった。

これらのことから、目下の作況は良と判断される。

品種名	出芽期(月日)			草丈 (cm)			出葉数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちびりか	5.23	5.29	△ 6	29	25	4	6.3	5.1	1.2

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成 22 年度より供試品種を「たちびりか」に変更している。

3) 平年値は前 7 カ年のうち最豊年の平成 26 年および最凶年の平成 28 年を除く 5 カ年の平均値である。

4) △は減を表す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1番草 やや良

事由

5月下旬以降、気温は平年並みであったものの、6月中旬の降水量は極めて少なく、生育はやや停滞し、1番草の出穂始期は平年よりも2年目草地で2日、3年目草地で3日遅かった。1番草収量調査は6月18日に行った。1番草刈取り時の草丈は平年よりも、2年目草地で3cm高く、3年目草地で1cm低かった。1番草の乾物収量は2年目草地で687kg(平年比108%)、3年目草地で580kg(平年比101%)であったことから総じてやや良と判断される。6月20日の草丈は2年目草地、3年目草地ともに11cmであった。

以上のことから、1番草の作況はやや良と判断される。

草地	草種	1番草									2番草		
		1番草 出穂始期(月.日)			刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつから」2年目	TY単播	6.14	6.12	2	6.18	6.15	3	108	105	3	11	30	△ 19
「なつから」3年目	TY単播	6.14	6.11	3	6.18	6.15	3	102	103	△ 1	11	30	△ 19

草地	1番草									
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)						
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)			
「なつから」2年目	TY単播	3701	3467	234	687	635	52	(108)		
「なつから」3年目	TY単播	2773	3142	△ 369	580	575	5	(101)		

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつから」に変更している。

注3) 平年値: 平成26年～令和2年のうち、最凶年(2年目草地: 平成28年、3年目草地: 平成28年)と最豊年(2年目草地: 平成26年、3年目草地: 平成29年)を除く5ヶ年平均値。

注4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1番草 不良

作況：2番草 やや良

事由

5月下旬以降、気温は平年並であり日照時間はやや多かったものの、先月に引き続き生育の停滞がみられた。特に冬損が大きかった3年目草地での生育停滞が顕著であった。1番草の草丈は平年よりも2年目草地で12cm低く、3年目草地で16cm低かった。乾物収量は平年よりも2年目草地で37kg少なく、3年目草地で91kg少なかったことから総じて不良と判断される。

2番草の6月20日現在の草丈は平年よりも2年目草地で4cm、3年目草地で6cm高かったことから総じてやや良と判断される。

以上のことから、現時点での作況は1番草が不良、2番草がやや良と判断される。

草地	草種	刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	6.1	6.1	0	55	67	△ 12	44	40	4
「ハルジマン」3年目	OG単播	6.1	6.1	0	33	49	△ 16	36	30	6

草地	草種	1番草						
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較 (平年比指數)	
「ハルジマン」2年目	OG単播	1040	1293	△ 253	202	239	△ 37	84
「ハルジマン」3年目	OG単播	319	915	△ 596	77	168	△ 91	45

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釗地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) OG: オーチャードグラス

注3) 平年値: 2年目草地については平成26年～令和2年のうち、最凶年(平成26年)と最豊年(令和2年)を除く5ヶ年平年値。3年目草地については平成27年～令和2年の6ヶ年の平均値である。

注4) △は減を示す。

メドウフェスク単播

作況：1番草 不良
作況：2番草 良

事 由

5月下旬以降、気温は平年並であり日照時間はやや多かったものの、冬損が大きかった3年目草地では先月に引き続き生育の停滞がみられた。1番草の草丈は平年よりも2年目草地で5cm高く、3年目草地で20cm低かった。乾物収量は平年よりも2年目草地で81kg多く、3年目草地で100kg少なかった。乾物収量平年比指数の2年目と3年目草地の平均値は、89%であったことから総じて不良と判断される。

2番草の6月20日現在の草丈は平年よりも2年目草地で9cm高く、3年目草地で6cm高かったことから総じて良と判断される。

以上のことから、現時点での作況は1番草が不良、2番草が良と判断される。

草地	草種	1番草						2番草		
		刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目 MF単播		6.1	6.1	0	49	44	5	41	32	9
「まきばさかえ」3年目 MF単播		6.1	6.1	0	23	43	△ 20	31	25	6

草地	草種	1番草					
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較 (平年比指数)
「まきばさかえ」2年目 MF単播		1085	878	207	268	187	81 144
「まきばさかえ」3年目 MF単播		172	755	△ 583	52	152	△ 100 34

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

注2) MF:メドウフェスク

注3) 令和2年から放牧型としてメドウフェスクの作況も掲載する。

注4) 平年値:2年目草地については平成26年～令和2年のうち、最凶年(平成26年)と最豊年(令和2年)を除く5ヶ年平年値。3年目草地については平成27年～令和2年の6ヶ年の平均値である。

注5) △は減を示す。